

あめいろぐ実践通訳  
診察後に所見を伝えるとき

あなたの心電図からは心臓の動脈が閉塞している可能性が疑われますので、もう少し多くのデータを収集するために、いくつかの検査を追加で行う必要があります。



Your EKG suggested a possible blockage of the heart arteries and we may need to order some more tests to collect a little more data.

などと言います。

患者に、「Your EKG revealed ST-T abnormality that suggested inferolateral myocardial ischemia. (あなたのEKGは、下外側心筋虚血を示唆するST-T異常を示しています)」などといっても、患者にはまず何のことかわかりません。

**意外かもしれませんが**、生粋のアメリカ人であってもラテン語に由来する医療用語はチンプンカンプンなのです。

### 小学校5年生程度の英語で説明するのが患者の理解を助けるのによい

とされています。ちなみに、私の英語は拙く、しかもゆっくりとしか話せないのですが、それがかえって患者の理解を助けているのだと気づくのに数年かかりました。外国人が話す拙い英語もときには強力な武器になるということです。

胸痛の場合であれば、心エコーとストレステストをオーダーすることが多いので、それらの試験を説明します。エコーといっても患者にはわかりませんので超音波検査と言い換えます。

あめいろぐ実践通訳  
検査の説明で使える説明

心臓の解剖学的な構造や機能を調べるための超音波検査を手配します。心臓の動脈が閉塞している可能性を排除するためにストレステストも行いたいと思います。どちらの検査も非常にシンプルで簡単です。針も刺しません。検査の1週間後に、結果についてお話ししましょう。よろしいですか？



I would like to order an ultrasound for the heart to check the anatomy and function, as well as a stress test to rule out the possibility of blockage in the heart arteries. Both tests are very simple and easy. No needles. I will see you one week after those tests to discuss the results. Is it OK ?

といて、握手して診察を終えます。



### ① 多国籍英語の国アメリカ

カリフォルニア州は、メキシコ系移民が大勢暮らしている場所です(なんといってもカリフォルニア州は、歴史的にメキシコの一部だった過去があります。その名残は、サンフランシスコやロサンゼルスに代表されるスペイン語の町の名前に多く見受けられます)。

私の勤務する病院のあるサリナスは農業地帯で、農場労働者はほぼ100%メキシコ人です。勢い、病院に来る患者もメキシコ系の人が多く、私の担当する患者のうち30%ほどはスペイン語しか話しません。残念ながら私はスペイン語が話せないなので、スペイン語を話すアシスタントを引き連れて診察室に入ることになります。フロントデスクの電話対応などは、日常的に

スペイン語を話す必要に迫られますので、私のクリニックのスタッフは、事務長、看護部長の2人を除くと、あとは全部メキシコ系(!)というすごい構成になっています。病院でも、スペイン語を話す通訳サービスが瞬時に使えるようになり、とても便利になりました。

ちなみに、メキシコ人の話すブローコンイングリッシュを面白がって使うアメリカ人も多くなりました。例を挙げると、「No worries」や「That's my bad」などです。それぞれ、「No worries」は正しくは「Don't worry (心配いりません)」、「That's my bad」は正しくは「That's my fault (私のせいです)」となります。